

「セダン」のメリットを活かし切るボディ設計

静粛性に優れ、剛性確保にも有利で、空力性能の追求もしやすいという、セダンボディのメリットを活かしきる設計を行いました。走りを楽しみながら快適に移動できるという「セダン」の価値を、コンパクトなボディの中に凝縮させました。

こだわり抜いた静粛性

静粛性の確保に有利なセダンボディとしての基本性能に加え、ノイズの侵入源となるボディの隙間への対策を徹底して行いました。その上で効果の高い遮音・吸音材を適切に配置することにより、室内の静粛性向上に配慮。フロントドアガラスには、より厚いガラスを採用することにより、耳元の「ざわざわ」としたノイズを低減させたほか、HYBRID EXではフロントウインドウに遮音ガラスも採用し、さらなる静粛性の向上を実現しています。

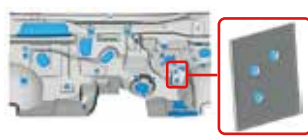
■ボディの隙間対策イメージ (アクセルペダルブラケットの例)

開口部を小さくしてノイズの侵入を抑制

従来コンセプトによる隙間対策



新しいコンセプトによる隙間対策



■部分は開口部

■主要遮音・吸音材配置図

吸遮音タイプダッシュボードインシュレーター
遮音層を重くしてノイズを低減



フロントウインドウ遮音ガラス
遮音フィルムを挟んだ合わせガラスでノイズを低減



吸音ルーフィング+インシュレーター

フロントドアガラス板厚アップ

エンジンルーム吸音材フードインシュレーター



一体成形フロアカーペット



フェンダーエンクロージャー

ドアライニングインシュレーター

ドアリップシール

ロングホイールベースと軽快なハンドリングを両立させる高いボディ剛性

広大な室内空間に寄与するロングホイールベースでありながら、コンパクトセダンらしい軽快感のあるハンドリングとするために、高いボディ剛性を追求しました。

フロントで発生させたコーナリングフォースを遅れ無くリアへと伝達させるために、リアシート後方を環状構造化して剛性を向上。

クイックレスポンス化したステアリングと相まって、優れたステアリングレスポンスをお楽しみいただけるものとなりました。

■ボディ剛性説明図

リアまわりを環状の構造にして剛性を向上



燃費性能と走行の安定感を高める空力パーツ

前方からの走行風をスムーズに流すフロントバンパーの形状など、エクステリアデザインで空力性能を向上させ、さらにボディ下にもエンジンアンダーカバー、フラットアンダーカバーなどの空力パーツを装着。燃費性能と走行安定性を高めました。

■ボディ下部説明図(FF車)

- ①チンスポイラー
- ②エンジンアンダーカバー
- ③フロアアンダーカバー
- ④フロントストレーキ
- ⑤リアストレーキ
- ⑥フェンダーカバー
- ⑦リアフロアアンダーカバー
- ⑧フロントバンパー下部エアスクリーン形状

